

第 3 回 メンテナンス

先月は、いかにオイルを吸わせないようにして寿命を延ばすか、という話題でした。

しかし、途中にも書いたのですが、必ずオイルは吸ってしまうもの。

1つのボールをずっと使いたい場合、オイル抜きなどのメンテナンスが必要不可欠です。

そのオイル抜きに関して、最近「ストープの前に置いてオイル抜きしてきた」や「ひなたに置いておいたら、オイルがたくさんできてきた」というお話を耳にしました。

みなさん、様々な方法でメンテをされているのだなと思いました。

最近ではネットの環境がよくなってきたこともあり、YouTubeなどの動画サイトでオイル抜きを撮影している方も多いうです。

布団乾燥機やお湯を使ったもの、中には食器乾燥機を改造したものもありました。

方法はさまざまです。私も独自の方法でオイル抜きを試してきた内の一人です。

だからこそ言えることがあります。

「ボールにとってあまりよくない方法でメンテナンスをしてみようと、動きに悪影響がでることをご存知でしょうか？」と。

実際、何も知らないで行った一番初めのオイル抜き。初めて買ったマイボールでやりましたが、結果失敗しました。

曲がっていたのがウソのように曲がらないボールになってしまったのです。

原因は、温度の高さによるものです。

一般的に、ポウリングボールは55℃位を越えると、ボールの成分を結合している「可塑剤（かそざい）」と呼ばれるものが表面より溶け出てきてしまう、と言われてます。

実際、新品のボールを温めると、投げてもいけないのにオイルらしきものが浮き出てきます。これが可塑剤です。

これがボールより流出しすぎますと、結合を司っているため、割れが生じたり、表面の素材の凹凸が形成できなくなったりするため、曲がらなくなると私は考えています。

そのことから、オイル抜きは温度に慎重になるべきなのです。ヒーターの前でやみ

くもに温めたり、裏面の革の中で暑いなか置いておいたり、直射日光に当てたりなど、いったい何℃になっているか分からない状態というのは怖いです。

逆に言えば、温度が管理さえできていればよいとも言えます。

プロシヨップでは、温度管理ができ、さらに超音波で内部に振動を与えて抜き出せるオイル抜き機をつけています。

失敗して大切なボールがダメになるのは困ってしまいますので、ご自身でやる際はご注意ください。

また、少なからずオイルと共に可塑剤は少しずつ流出してしまいます。

なので、1つのボールでオイル抜きをやりまするのもよくないです。せいぜい3〜4回ほどが限度かなと思っています。

<筆者>



猫をこよなく愛し
猫に愛されたい
とあるポウラー

<好きなもの>
にゃんこ